

米国特集「トランプ・ファイル」 - 救世主か、ディープ・ステート（闇の政府）の一部か？

Zusammenfassung / summary:

++++ 米大統領選：Kla.TVが大暴露！++++ ドナルド・トランプが次期大統領に立候補し、ディープ・ステートを撲滅しようとしている。しかし、アメリカのいわゆる「ディープ・ステート」とは何なのか？そしてドナルド・トランプとは何者なのか？カマラ・ハリスとイーロン・マスクが果たす役割とは？Kla.TV-INVESTIGATIVEとKla.TV-INTERNATIONALによる制作。

Sendetext / broadcast text:

ドナルド・トランプは、彼の言葉を借りれば「腐敗したエスタブリッシュメントを打ち破り」「ディープ・ステートを根絶やしにする」ために、次期アメリカ大統領に立候補した。再出馬した彼は、「ワシントンの沼を掃き出し」、ロシアとウクライナの戦争を数時間で終わらせると約束している。

「私の政権では、ワシントンのロビイストや特別利益団体、腐敗した政治と戦う。私たちはワシントンD.C.に行き、沼の水を抜くつもりだ」。

「ワシントンD.C.に行って、沼の水を抜くんだ」。

「ディープ・ステートを解体し、民主主義からワシントンの腐敗を一掃する私のプランがここにある」。

「今こそ沼の水を抜く時だ」。

「ディープ・ステートを消滅させる」。

「ディープ・ステートがアメリカを滅ぼすか、我々がディープ・ステートを滅ぼすかだ」。

「2024年11月5日、我々は腐敗した政治体制に立ち向かう」。

「ワシントンの腐敗したエスタブリッシュメント」。

「私の存在が、私たちを戦争から救ってくれたのです」。

「大統領選に勝った直後、私はロシアとウクライナのひどい戦争を終わらせる」。

「この戦争を1日で終わらせる。24時間で終わらせる」。

「私は第三次世界大戦を阻止する。[...] 私はロシアとウクライナの破滅的な戦争を終わらせる。そのために1日以上は必要ないだろう」。

ドナルド・トランプ - 世界が待ち望んでいたピースメーカー？

アメリカをディープ・ステートから解放する勇敢な救世主？

アメリカのいわゆるディープ・ステートとは何か？

ドナルド・トランプとは？

USスペシャル トランプ・ファイル - 救世主か、ディープ・ステートの一部か？

Kla.TV-INVESTIGATIVEとKla.TV-INTERNATIONALの制作。

米大統領選が熱を帯びてきた。選挙は2024年11月5日に実施される。決戦は、共和党対民主党、ドナルド・トランプ対カマラ・ハリス。

国境をはるかに越えて、国民を二分しているのはこの決闘だけでなく、何よりもドナルド・トランプという人物である。ある者は彼を激しく拒絶する。また、彼を待望の救世主と見る者もいる。

カマラ・ハリスが米国民の自由を守ると約束する一方で、ドナルド・トランプは自らを国家の救世主として提示する。今、世界中の何百万という人々が、彼の人物に希望と信頼を置いている。この信頼は正当化されるのか？

これを明らかにするためには、次のことを認識することが重要である：ディープ・ステートとは何なのか？

誰によって構成されているのか？言い換えれば誰がアメリカを統治するのか？この質問は、アメリカ建国以来の政治的エスタブリッシュメントが誰であったかを知らなければ答えられない。

ディープ・ステートとは何なのか、誰なのか？

「ディープ・ステート（深層国家）」という言葉は、国家内の非合法的な権力構造を表す政治的流行語である。隠された権力は、司法による統制を受けることなく、自らの目標を実現する。「ディープ・ステート（深層国家）」という言葉に関連して、しばしば秘密結社や「見えない」黒幕、あるいは影の政府といったものが語られる。この影の政府は、国民に知られることなく、それゆえコントロールされることなく、背後から密かに活動している。

そのような影の政府がアメリカに存在するのだろうか？

アメリカにディープステートはあるのか？

第1回アメリカ建国の父たち

ドイツの著名な歴史家、ミヒャエル・ヘーゼマン博士が2024年に出版した著作『フリーメイソンの玉座と祭壇に対する戦争』で明らかにしたように、アメリカ合衆国を建国したのは秘密結社だった。

アメリカ建国はアメリカ独立戦争に先行していた。この蜂起の中心人物は、フリーメイソンのサミュエル・アダムズとジョン・ハンコック、そして「マサチューセッツ・グランド・ロッジ」のグランド・マスターであるポール・リビアだった。

1776年7月4日、13植民地の代表団はついに合衆国独立宣言を採択し、アメリカを建国した。

フリーメイソンのグランドマスター、ベンジャミン・フランクリン（1706～1790）は、建国されたばかりの「アメリカ合衆国」の独立宣言を起草した委員会のメンバーだった。

最初の草稿は、委員会がフリーメイソンのトマス・ジェファソン（1743～1826）に依頼した。

独立宣言の56人の署名者のうち、53人は明らかにフリーメイソンだった。

1787年に合衆国憲法が採択されたとき、39人の署名者のうち19人がフリーメイソンだった。

初代アメリカ大統領ジョージ・ワシントン（1732～1799）もフリーメイソンだった。彼は在任中、「アレキサンドリア・ロッジの椅子のマスター」でもあった。就任式では、ニューヨークのセント・ジョンズ・ロッジのメーソン聖書に宣誓した。

第2回象徴的な都市計画

1791年、フリーメイソンのピエール・シャルル・ランファンは、新しい連邦首都ワシントンの計画を依頼された。彼の都市計画デザインにはメーソンのシンボリズムが込められており、その後数十年にわたって綿密に実現された - 分度器、コンパス、「すべてを見通す目」、そして五芒星（悪魔崇拝でよく使われる下向きの五芒星）は、訓練された目には見分けがつく。

この都市地図では、誰の精神がワシントンを支配し、誰が大統領府のファサードの裏で実際に米国を統治するディープ・ステートを形成しているのかを、「すべての時代と世代が見ることができるように」決定することは非常に簡単である。

1793年9月18日、アメリカ議会の所在地であるワシントンの議事堂の礎石が、メーソンの儀式に従って据えられた。ジョージ・ワシントンはレンガ職人のエプロンを着用していた。

議事堂は、後のアメリカ大統領でフリーメイソンのトマス・ジェファソンによって「国民の主権に捧げられた最初の寺院」と形容された。

1848年、ホワイトハウスのすぐ近くでワシントン記念塔の建設が始まった。この記念碑的なオベリスクの礎石は、メーソンロッジから寄贈された。オベリスクはフリーメイソンの重要なシンボルである。ワシントン・モニュメント・ロッジはワシントン記念塔のふもとにある。

ドル札には、誰がアメリカのディープ・ステートを構成しているのかも明記されている。

1ドル札の裏面には [...] 不完全なピラミッドの上に「プロビデンスの目」が描かれている。実際、いわゆる「プロビデンスの目」は、今日でもメイソンのロッジの中心的なシンボルとなっている。[1935年、フランクリン・D・ルーズベルト大統領の時代に、ピラミッドが1ドル紙幣に加えられた。ルーズベルトは1ドル札にピラミッドを入れた。ルーズベルトはフリーメイソンの非常に活発な会員であり、大統領時代にはホワイトハウスに多くのメーソン使節団を迎えた。1ドル札の未完成ピラミッドの一番下の段にあるローマ数字は、1776年を表している。しかし、これはアメリカの独立宣言の年ではなく、1776年にアダム・ヴァイスハウプトがインゴルシュタットでメーソン・イルミナティ教団を創設した年にちなんでいる。秘密結社のシンボルはミネルバのフクロウである。興味深いのは、1ドル札の正面右隅にある数字の「ONE」の後ろから、小さな白いフクロウが顔を出していることだ。

メーソンの秘密結社は、アメリカほど急速に広まったところはない。ジョージ・ワシントンの死後、最初の四半世紀で会員数は25,000人から80,000人に増加し、当時の成人白人男性の10%を占めた。それから100年後の1930年、アメリカにはすでに16,515のロッジがあった。

その頃、ヴァージニア州にはジョージ・ワシントン・メーソン・ナショナル・メモリアルが完成していた。これは記念碑的なメーソン寺院であり、遠くからでも見ることができるアメリカン・フリーメイソンのランドマークである。

現在、アメリカには約200万人のアメリカ市民がメーソン秘密結社の会員である。

第3回アメリカ大統領職の保持者たち

『Zeitschrift für Politik』はミュンヘン政治学派の学術誌。1943年、彼女は『北米フリーメイソン』と題する小冊子からの抜粋を発表したが、これは実際にはフリーメイソンだけを対象としたものだった。

1789年の初代アメリカ大統領ジョージ・ワシントンの就任から1933年まで、ほとんどすべてのアメリカ大統領が秘密結社のメンバーであったことを明確に示している。ジョージ・ワシントンのほか、トマス・ジェファソン、アンドリュー・ジャクソン、エイブラハム・リンカーン、セオドア・ルーズベルト、ウィリアム・ハワード・タフト、ウッドロー・ウィルソンらである。彼らの政治政権もフリーメイソンだけだった。この時期のアメリカ大統領31人のうち、フリーメイソンでなかったのは2人だけだったが、彼らは秘密結社の支援を享受していた。

Kla.TVが高評価を得たドキュメンタリー「ジョン・F・ケネディ暗殺-暴かれた背後の男たち」で明らかにしたように、以下のアメリカ大統領は2017年まですべてフリーメイソンであり、ジョン・F・ケネディなど例外は3人だけである。その中には、フランクリン・D・ルーズベルト、リチャード・ニクソン、ジェラルド・フォード、ジョージ・ブッシュ・シニア、ビル・クリントン、ジョージ・W・ブッシュ、バラク・オバマ。

第4回米大統領の背後に影の政府は存在するのか？

1921年、メーソン秘密結社は戦略的コントロールセンター、外交問題評議会、略してCFRを設立した。

外部にはシンクタンクとして宣言され、それ以降、アメリカの影の政府として機能することになった。

フリーメイソンのポール・ウォーバークとオットー・ヘルマン・カーンの協力のもと、エドワード・マンデル・ハウスによってニューヨークで設立された。その他の主要な創設者には、高位のフリーメイソンであるジョン・D・ロックフェラー・ジュニア、アルフレッド・ミルナー、ライオネル・カーチスらがいる。

また、作家のウォルター・リップマンもその建設に重要な役割を果たした。ジョン・D・ロックフェラー・ジュニアの盟友。

CFRの初代会長ジョン・W・デイビスは、ロックフェラー家のために働き、フリーメイソンでもあった。

CFR設立の資金は、フリーメイソンのJ.P.モルガン、ジョン・D.ロックフェラー、バーナード・バルーク、ポール・ウォーバーグ、ジェイコブ・シフといったメーソン系大金持ちからもたらされた。CFRが1945年に現在の本部であるニューヨークのハロルド・ブラット・ハウスに移転した際、ロックフェラーは維持費を寄付した。創設以来、CFRはメーソン系のロックフェラー一族から多額の資金援助を受けてきた。

CFRの最も有名な世界戦略家であり理事であるのは、フリーメイソンのヘンリー・キッシンジャー、デビッド・ロックフェラー、ズビグニュー・ブレジンスキー、アレン・W・ダレス、ジョン・J・マクロイ、ラリー・フィンク、そして世界戦略家ジョージ・ソロスである。

CFRには現在5,300人の会員がいる。高級フリーメイソンであるデビッド・M・ルーベンシュタインが2017年からCFRの議長を務めている。

2011年に有名なワシントン記念塔であるメーソンのオペリスクが修復された際、ルーベンスタインは修復に必要な資金の半分を寄付した。2014年にオペリスクが再オープンする前に、デイヴィッド・M・ルーベンスタインが象徴的にキーストーン、つまりオペリスクの頂上にピラミッドを置いた。この部分は「ルシファーのすべてを見通す目」を表しており、ドル紙幣のピラミッドの頂点にあるものと同じである。

アメリカ政府の例ほど、CFRの権力と影響力を示すものはない。CFRの元議長で高位のフリーメイソンであるジョン・ジェイ・マクロイは、かつてこう言った「ワシントンで人手が必要なきはいつでも、評議会のメンバーリストに目を通し、ニューヨークに電話をかけるだけだった」。

ウィリアム・ミンターとローレンス・シュウプの研究によれば、1945年から1972年の間に、政府メンバー502人の半数以上がCFRに所属していた。

米国の歴代大統領もCFRのメンバーだった。ドワイト・D・アイゼンハワー、リチャード・ニクソン、ジェラルド・フォード、ジミー・カーター、ビル・クリントン、ジョージ・H・W・ブッシュなどである。

1921年にCFRが設立されて以来、すべてのアメリカ大統領はCFRの影響下にあった。CFRにとっては、彼らが民主党に所属しているのが共和党に所属している方が違いはない。

創設以来、CFRは多くのアメリカ大統領の「アドバイザー」としても機能してきた。CFRの戦略家が米大統領にどのような影響を与えているか、その例をいくつか挙げてみよう。

CFRの戦略家ヘンリー・キッシンジャーとジミー・カーター、ジョージ・ウォーカー・ブッシュ、バラク・オバマ。

ジョージ・ウォーカー・ブッシュ、ロナルド・レーガンとCFRの戦略家デイヴィッド・ロックフェラー。

ジミー・カーターの安全保障顧問、リンドン・B・ジョンソンの顧問を務めたCFRの戦略家ズビグニュー・ブレジンスキー。

ビル・クリントンとバラク・オバマの下で財務長官を務めたCFRの戦略家ロバート・E・ルービン。

アメリカの国境を越えてこのメーソン影の政府を確立するために、CFRからビルダーバーグ・グループ、三極委員会、欧州外交問題評議会が設立された。

第5回ジョー・バイデン米大統領とカマラ・ハリス米大統領候補

ジョー・バイデンは2021年から第46代アメリカ大統領を務めている。バラク・オバマ大統領時代の2009年から2017年まで副大統領を務めた。

ジョー・バイデンは、歴代のアメリカ大統領と同様、高級フリーメイソンであり、バラク・オバマ、ウォーレン・バフェット、ビル&ヒラリー・クリントンとともに、CFRの戦略家ズビグニュー・ブレジンスキーが創設したマート・ロッジのメンバーでもある。「マート」という言葉はエジプト語に由来し、とりわけ世界の秩序を意味する。この言葉は、「レの目」あるいは「すべてを見通す目」として現れるエジプトの女神に象徴される。

バイデンはCFRとも非常に親しい。2018年にCFRに登場したときの様子。

バイデン内閣の30人のメンバーのうち、17人がCFRに所属しているか、CFRと密接な家族関係にある。

CFRの有名な戦略家たちも、ジョー・バイデンと並んで何度も登場する。その中には、2023年に死去したヘンリー・キッシンジャー、CFRの現議長デビッド・M・ルーベンシュタイン、CFRの戦略家ジョージ・ソロスの息子で後継者のアレクサンダー・ソロスなどが含まれる。バイデンは就任以来、少なくとも17回はホワイトハウスを訪れている。

ジョージ・ソロスは2024年の選挙キャンペーンでバイデンを支援した人物として知られている。彼は選挙キャンペーンに6,000万ドルの資金を提供した。

ジョー・バイデンが2024年7月21日に2024年アメリカ大統領選挙への立候補を取り下げた後、カマラ・ハリスが民主党の新候補として指名された。彼女は以前、ジョー・バイデンの下で副大統領を務めていた。

カマラ・ハリスもまた、CFRと非常に親密な家族関係にある。妹のマヤ・ハリスはCFRのメンバーである。

カマラ・ハリスの最も親しいアドバイザーの一人で、2019年の大統領候補、2020年の副大統領候補として選挙キャンペーンを指揮した。

バイデンの辞任直後、CFRの戦略家ジョージ・ソロスとその息子アレクサンダー・カマラがハリスの立候補を資金面で支援していることが明らかになった。アレクサンダー・ソロスとカマラ・ハリスの間には、すでに何度か会合が持たれている。

ドナルド・トランプ - 救世主か、ディープ・ステートの一部か？

これまでに紹介したつながりと事実に基づけば、米国にディープ・ステートが存在すること、そして誰がそれを形成しているのかは明らかである。1776年の建国以来、アメリカでは秘密結社が政治を動かしてきた。1921年以来、CFRはこうした秘密結社の政治戦略部門として機能してきた。トランプはこのディープ・ステートを根絶するために、2016年以降、再び大統領選に出馬した。

「これがディープ・ステートを叩き潰す私の計画だ」。
トランプは、ジョー・バイデンやカマラ・ハリス、そしてそれ以前のアメリカ大統領とは違って、このディープ・ステートの仕組みに対する待望の救いなのだろうか？
2017年、ドナルド・トランプが第45代アメリカ大統領に就任した。彼はすでにアメリカでは有名な人物だった。彼はトランプ帝国の会長として有名になり、エキセントリックな億万長者で、ニューヨークにあるトランプ・タワーのオーナーでもある。
ドナルド・トランプとは何者か？彼は正義の闘士であり、こうした秘密結社からの米国民の解放者なのだろうか？それとも、彼自身が影響下にあり、ディープ・ステートの首謀者たちと接触しているのだろうか？
第1回トランプとフリーメーソン、CFRの戦略家ヘンリー・キッシンジャーとの関係

キッシンジャーは2017年5月10日にトランプに会った。キッシンジャーとトランプの会談は2017年10月にもホワイトハウスで行われた。
この会談でトランプは、キッシンジャーとは長い付き合いだと説明した。
「ヘンリー・キッシンジャーは私の友人だった。私は彼が好きだったし、尊敬していた。私たちは長い付き合いだ。私が政治の世界に登場するずっと以前から、私たちはお互いのことをよく知っている」。
キッシンジャーだけでなく、他のCFRの戦略家もトランプと並んで登場している。ここでは、フロリダの私邸で、CFRの会長代理を務める高位フリーメーソン、デビッド・M・ルーベンスタインと会談している。CFRの戦略家で高位メイソンのラリー・フィンクとも。
トランプはまた、CFRのメンバーであり、ブラックストーンのパースであるスティーブン・シュワルツマンも主要な献金者に数えている。彼は「秘密結社スカル&ボーンズ」のメンバーである。
トランプはフリーメイソンの高位代表と密接な関係にある。同時に、彼は公の場では、多くの元米大統領と同じように敬虔なクリスチャンであることを表明している。
米国のキリスト教指導者たち、そして何百万人もの福音派キリスト教徒、つまり有権者の決定的なグループは、それゆえトランプを支持し、彼に望みを託している。
トランプはニューヨークのフォーダム大学でイエズス会の教育を受けた。彼の子供たちであるエリック、イヴァンカ、ティファニーは、イエズス会が運営するワシントンD.C.のジョージタウン大学で学んだ。イエズス会はカトリック教会の中で最大の宗教団体である。フリーメーソンの国際百科事典の項目を見ると、17世紀にメーソン秘密結社とメーソンの学位が設立されたのは、イエズス会の影響が大きかったことがわかる。
ドナルド・トランプは子供の頃からマーブル・コレッジ教会に通っていた。彼は50年間、日曜礼拝に参加した。ノーマン・ヴィンセント・ピールは、1993年に亡くなるまでこの教会の牧師だった。多くの人が知らないのは、ピールが33度のフリーメイソンだったということだ。トランプは何度もピールを称賛し、彼の人生に影響を与えた人物として挙げている。1977年、トランプは最初の妻イヴァナと結婚。ピールが執り行った式で。
1988年、ノーマン・ヴィンセント・ピールの90歳の誕生パーティーでのトランプ夫妻の写真。

第2回トランプの娘婿で最高顧問のジャレッド・クシュナー

ジャレッド・クシュナーはアメリカの資産家で、2009年からドナルド・トランプの娘婿を務めている。2009年にイヴァンカ・トランプと結婚。クシュナーはトランプ米大統領の最高顧問であり、グレイ・エミネンス・グリーズとみなされている。
ヘンリー・キッシンジャーはクシュナーを「トランプの最も重要な側近」と呼んだ。ジャレッド・クシュナーは、フリーメーソンのヘンリー・キッシンジャーとデビッド・ロックフェラーによって設立されたビルダーバーグ・グループの一員である。ビルダーバーグ会議2019に参加。
トランプはまた、ビルダーバーグ・グループの運営組織からもさらなる支援を受けている。投資家で「高級フリーメーソン」のピーター・ティールは、ビルダーバーグ・グループの経営委員会の一員である。
2016年、ティールはトランプ氏の選挙キャンペーンに100万ドル以上の資金を提供した。トランプ勝利後は、大統領就任を準備する政権移行チームの一員だった。それ以来、彼はトランプのアドバイザーとして働いている。
ティールはまた、トランプの副大統領候補であるジェームズ・デイヴィッド「J.D.」パンスも資金面で支援していた。パンスもティールから資金援助を受けていた。パンスはティールを師と仰ぐ。
米国の調査ジャーナリスト、ホイットニー・ウェブは最近のインタビューで、パンスがペイパル創業者のピーター・ティールと密接な関係にあることを語った。
「デイヴィッド・ヴァンスは、政治家としてのキャリアも、それ以前のベンチャーキャピタルとしてのキャリアも、ピーター・ティールに負っている。たとえば、ピーター・ティールがJ.D.パンスに初めて会ったのは、J.D.パンスがロースクール在学中のことだった。そしてその後、ティールが設立したミスリル・キャピタルという会社で、ベンチャーキャピタルでの最初の仕事を依頼した」。
「そして彼はその後、ピーター・ティールの強力な支援を受けて、自身のベンチャーキャピタル、ナリヤ・キャピタルを設立した」。
「さらに、パンスが出馬や上院選への出馬を決めたとき、彼はピーター・ティールから多額の資金援助を受けていた。ピーター・ティールは彼の選挙キャンペーンに1,500万ドルを寄付したが、これは当時も現在も、上院議員候補への単独寄付としては史上最高額だと思う」。
「ペイパルは別として、シークレットサービスとのつながりを明確に示しているのは、ピーター・ティールが2003年に設立したパラティアである」。

「彼らはアメリカ人全員に対するいわれのないスパイ行為を直接可能にし、国家安全保障の名の下に、あなたをプロファイルするためにこれを利用している。『ニューヨーク・タイムズ』紙によれば、ピーター・テイルがトランプ大統領の最初の選挙キャンペーンに影響を及ぼしたことで、パランティアが米軍と多くの契約を結び、さらに米情報機関と多くの契約を結んだことも不幸なことだ」。

第3回ドナルド・トランプとヒラリー・クリントン、ライバルか否か？

彼らは2016年の最大のライバルだった。民主党はヒラリー・クリントン、共和党はトランプが参戦した。

彼らは公の場で汚い選挙戦を戦った。

「ヒラリー・クリントンにはもう我慢できない。クリントンはもうたくさんだ」。

「大統領執務室に時限爆弾を置くわけにはいかない」。

しかし、よく見ると、ドナルド・トランプは、ビル&ヒラリー・クリントンの2人の高位フリーメイソンと長い間親しい友人であった。

オーストリアの日刊紙『Kurier』が2016年の選挙キャンペーン中に掲載した記事は、特に明らかになった。『Kurier』の見出しである

チェルシーとイヴァンカは仲良し - 両親の仲は険悪なのに。[...] 実際、チェルシー・クリントンとイヴァンカ・トランプは、両親の関係もあって長年親しい友人関係にある。

「私たちはこの選挙のずっと前から友人でした」とチェルシー・クリントンは明言する。「そして、選挙が終わっても、私たちはずっと友達でいられるでしょう。

両親も長い友情で結ばれている。

ビル・クリントン大統領はドナルド・トランプと長年にわたって非常に仲が良かった。

2005年、ドナルド・トランプとメラニア・トランプの結婚式で最前列に座ったヒラリー・クリントン。

トランプはクリントン財団とヒラリー・クリントンの上院選挙キャンペーンに寄付した。

ドナルド・トランプが大統領選に立候補する直前の2015年5月、ビル・クリントンと極秘の会話を交わしていたことが明らかになった。彼の妻ヒラリーがそのわずか1カ月前に自らの立候補を宣言していた間のことだ。クリントンのスタッフはその後、クリントンが共和党でより大きな役割を果たそうとするトランプの努力を後押ししたと語った。

その後の選挙戦で、ドナルド・トランプは、もし自分が大統領に当選したら、クリントンに対する捜査を開始し、彼女の数々の犯罪を刑務所に入れると約束した。トランプ大統領の選挙キャンペーンでは、「彼女を監禁しろ！」がスローガンとなった。

ドナルド・トランプは就任早々、即時かつ継続的な調査を警告した。

「ヒラリーは何年も捜査される可能性が高く、刑事訴訟で終わる可能性が高い」。

「ヒラリー・クリントンは長い長い間、捜査の対象となるだろう。私たちの国、私たちの国民、そして私たちの民主主義に対する彼女の多くの犯罪のために」。

選挙後、これは嘘だと判明した。トランプはクリントンに対するすべての調査を取り下げた。

ドナルド・トランプ次期米大統領は、選挙で敗れた民主党のヒラリー・クリントン候補へのさらなる捜査を進めることを望んでいない。[...] トランプは、クリントンが国務長官時代に電子メール用の私用サーバーを使用していたことや、クリントン財団の慣行についてさらに調査することを望まなかった。

トランプとクリントンの競争は、2004年のジョージ・W・ブッシュとジョン・ケリーの大統領選挙キャンペーンと同様に、単なる演出だったのだろうか？ 共和党と民主党の決闘はブッシュが勝利した。

しかし、ライバルであるはずの2人が同じ秘密結社のメンバーであることが明らかになった。ケリーは1966年にイエール大学の「スカル&ボーンズ秘密結社」に入会し、ブッシュはその2年後に入会した。

第4回ドナルド・トランプ、ジェフリー・エプスタインのネットワークでビル&ヒラリー・クリントンと共演

ドナルド・トランプにはビル&ヒラリー・クリントンと共通点がある。- ジェフリー・エプスタインとの密接なつながりだ。

米国の金融業者で性犯罪者のジェフリー・エプスタインは、約20年にわたって未成年者を使った性売買組織を運営していた。被害者の報告によると、性犯罪や性的暴行は1996年の時点で行われていた。被害者は少なくとも100人と推定される、しかし、報告されていないケースの数は、その何倍もあることは間違いない。

エプスタイン事件は世界中にセンセーションを巻き起こした。ジェフリー・エプスタインは2019年に収監され、しばらくして独房で死亡しているのが発見された。エプスタインはCFRのメンバーだった。彼の友人にはドナルド・トランプやビル・クリントンがいた。

トランプと後の妻メラニア、ジェフリー・エプスタイン、ギスレーン・マクスウェル。フロリダ州パームビーチのパーティーで性犯罪者エプスタインと一緒にいるトランプ。

2002年の『ニューヨーク・マガジン』誌のインタビューで、トランプは「ジェフとは15年の付き合いだ。素晴らしい男だ。一緒にいるととても楽しい」。

2021年、エプスタインの共犯者でありパートナーのギスレーヌ・マクスウェルに対する刑事裁判で、トランプが1990年代に何度かエプスタインのジェット機に乗客として乗っていたことが明らかになった。

エプスタインはこの飛行機を使って、未成年の女性や高級なゲストを自分のプライベート・アイランドに送ったりしていた。そのため、このマシンはメディアで「ロリータ・エクスプレス」とも呼ばれている。

「ビル・クリントン、ドナルド・トランプ、英国のアンドリュー王子が頻りに搭乗していたことが、以前に公開されたフライトログからわかっている。[...] クリントンは26回、ドナルド・トランプは少なくとも7回同乗者として記載されている」。

2019年4月16日、エプスタインの被害者の一人であるマリア・ファーマーが、ニューヨークの連邦裁判所に宣誓供述書を提出した。その中で、彼女は妹のアニーとともに、さまざまな場所でエプスタインとマックスウェルから性的虐待を受けたと述べた。

マリア・ファーマーは後のインタビューで、ドナルド・トランプだけでなく、ビルとヒラリー・クリントンもエプスタインに入り込んでいるのを見たと言っている。

「私は全員の名前を挙げた。ドナルド・トランプの名前を挙げた。共謀者と思われる全員の名前を挙げた。[...] ドナルド・トランプ、クリントン夫妻。彼らは私が見たり聞いたりした人たちだ。彼らが全体の一部であることは知っていた」。

しかし、公の場では、トランプは自らを児童の性的人身売買に対する救世主のように装っている。2016年にトランプが大統領に就任した際、彼は「人身売買をなくすために政権の総力を挙げる」と約束した。

2018年4月、トランプは性売買と児童の搾取に反対する法律に公に署名した。

「わが政府は、国内外の人身売買業者にかつてない圧力をかけており、あらゆる場面で罪のない被害者を絶えず解放している」。

「人身売買という絶対に恐ろしい行為を終わらせることに、私の政府は注力していくことを、今日明確にしたい」。

「私たちは、性売買という恐ろしい悪を助長する外国政権に挑戦します」。

性的人身売買と闘うという点で、自らもその一部であるらしい人物がどれほど信頼できるだろうか？

トランプは、ジェフリー・エプスタインのファイルを開きたいかと尋ねられると、2024年6月のフォックス・ニュースのインタビューで次のように答えた

「もしあなたが大統領だったら--この質問にイエスかノーで教えてください--9-11のファイルを公開しますか？ JFK事件のファイルを公開しますか？ はい。エプスタインのファイルを公開しますか？ はい、はい、はい。公開すると思います。その方が少ないと思う」。

第5回イーロン・マスク、ドナルド・トランプに巨大なプラットフォームを提供

イーロン・マスクは現在、トランプの最大の支持者だ。推定2430億米ドルの資産を持つテスラの社長は、世界で最も裕福な男とみなされている。マスクは2024年7月のトランプ大統領候補への支持を正式に表明した。「私はトランプ大統領を全面的に支持する」と、このハイテク億万長者は2022年に引き継いだプラットフォームXに書き込んだ。

その後、多くのメディアが、大統領選挙まで月4500万ドルでトランプを支援したいと報じた。

9月初め、トランプとマスクが将来的に緊密に協力する予定であることが発表された。トランプが米大統領になれば、政府効率化委員会の設置を計画している。テスラのイーロン・マスクCEOが委員会のトップに就任する。

例えばイーロン・マスクは、Xツイッターを金融システムの半分にするつもりだと言っている。[...] 最終的にはバイオメトリック・デジタルIDになるだろう。[...] そして、そのすべてをあなたの財政や財布とリンクさせるのです。

マスク社が人間に脳チップを埋め込む。

人々の脳にチップを埋め込んでコンピューターとネットワーク化する、つまり、チップを埋め込まれた人々の思考を監視できるようにするというマスクの意図も、この方向に向かっている。

トランプとマスクのオンラインプラットフォーム「X」でのライブ対談が注目を集めた。8月12日に放送されたこの対談で、マスクはトランプを激しく支持するキャンペーンを展開した。「マスクはトランプにこう言った「私たちは文明の運命に関して転換点に立ち、正しい道を選ぶ必要があると思います。そして、私は、あなたこそが正しい道だと思う」。

「これからも同じように続けてほしい。そして常に成功を収めてください」。「文明は岐路に立ち、我々は正しい道を選ばなければならない。- そして、それがあなたなのです」。「ありがとう、イーロン。- とても光栄です」。

トランプとのライブ対談中、多くのリスナーはイーロン・マスクがXプラットフォームのプロフィール写真として使っている特別な写真に気づいた。パフォーマットのコスチュームに身を包んだマスクが描かれている。

マスクはXでその写真を公開した。前面にはパフォーマットが描かれている。これは悪魔のヤギを描いたもので、悪魔崇拝の世界ではルシファーとして崇拝されている。サタン十字架として知られる逆十字架は、紛れもなくイーロン・マスクの背中にプリントされている。

イーロン・マスクはこのコスチュームをとっても重要だと考えているようで、「X」の公式プロフィール写真として使っている。この悪魔的なプロフィール写真は、どうやら偶然に選ばれたものではないようだ。テキサス州知事のグレッグ・アボット氏は、マスク氏との会談後の写真を公開した。マスクとアボットが両手でルシファーサインを示しているのがよくわかる。このハンドサインは「悪魔の角」とも呼ばれ、「ルシファーが支配する」または「ルシファーにすべての力と力を」を象徴している。それにもかかわらず、ファクトチェッカーたちは、イーロン・マスクの悪魔のような手のジェスチャーについて、これはテキサス・ロングホーン牛を表していると説明した。米国のジョージ・ブッシュ大統領とバラク・オバマ大統領がこのサインを繰り返しカメラに映したときも、当局は同じ正当化を使って警告の声を封じた。

しかし、ブッシュとオバマがルシフェリアンの高位フリーメーソンの一員であることは知られている。

イーロン・マスク、バラク・オバマ、ジョージ・ブッシュに加え、「悪魔教会」の創始者であり大祭司であるアントン・ラヴェイもまた、この悪魔のサインを数々の場で披露している。

ハリー王子も大統領夫人メラニア・トランプとの公式会談でこれを行った。あるいは、ドナルド・トランプの国賓訪問中のエマニュエル・マクロン仏国家元首。

第6回トランプ-宣言された平和メーカー？

世界の舞台では、トランプは自らを国際的な平和主義者として見せている。彼の重要な選挙公約のひとつは、ロシアとウクライナの戦争を数時間で終わらせることだ。

「私は第三次世界大戦を阻止する。[...] 私はロシアとウクライナの破滅的な戦争を終わらせる。そして、そのために1日以上は必要ない」。

現実とはどのようなものなのか？ スイスの歴史家、ダニエレ・ガンザー博士はこのようにコメントしている

「2018年8月、トランプは[...] 帝国の来年度の国防予算を承認した。そしてそれは7160億ドルにのぼる。[...] つまり、国防総省の予算は1日20億ドルということになる」。

第45代米大統領に就任したトランプ氏の在任中の戦争記録は以下の通りである。大統領就任後の2年間だけで、アメリカは7万9000発の爆弾とミサイルを投下した。これは、ジョージ・W・ブッシュの8年間の全任期を2年間で上回ったことになる。

調査報道局が公表した数字によれば、トランプ政権下の4年間で12,000回以上のドローン攻撃があった。これはオバマの8年間の任期中の7倍である。

戦争という点では、トランプはこれまでのアメリカ大統領と同じように、またディープ・ステートの首謀者たちがアメリカで何世紀にもわたって行ってきたのと同じように行動した。

ロシアとウクライナの戦争をどのように終わらせたいかという質問に対して、トランプはCNNのインタビューで次のように明確に答えた

「ヨーロッパに(戦争のための)資金をもっと提供してほしい。彼らは200億ドルで、我々は1700億ドル(戦費)だ。彼らは反応して、バランスをとるべきだ」。

言い換えれば、これは何十億もの追加資金が防衛企業に流れることを意味する。追加武装は、ロシア・ウクライナ戦争のさらなるエスカレートにつながる可能性が非常に高い。

トランプが就任1期目にNATOを批判したのは、すでに防衛産業への追加資金を数十億ドル生み出すためだった。トランプの宣言した目的は、NATO加盟国を説得し、防衛費を国内総生産の4%まで大幅に引き上げることだった。

「ドナルド・トランプ米大統領は、NATO加盟国に国防支出目標を倍増するよう求めている。ホワイトハウスのサラ・サンダース報道官によると、トランプ大統領は水曜日開催されたNATO首脳会議で、各国の国防支出目標を国内総生産の2%から4%に引き上げるべきだと提案した」。「我々はまた、NATO加盟国が金銭的義務を果たし、支払いを完了するようにしなければならない」。

トランプには説明が必要だ。重要なキーパーソンとトランプの最も重要なアドバイザーは、ルシフェリアン高位フリーメーソン、またはその戦略組織CFRの一員である。ヘンリー・キッシンジャーとの親密な友情、イーロン・マスク、ピーター・ティール、ジェフリー・エプスタイン、ビル&ヒラリー・クリントンとの絡みは大きな疑問を投げかける。

トランプの数々の公約や発表は、精査した結果、メーソンの美辞麗句であることが判明した。つまり、実際には国民に説明されていることと正反対のことが実現しているのだ。トランプは公式には性犯罪や児童売買に対して効果的な行動をとっていると主張しているが、彼自身はエプスタイン・ネットワークの一員である。同じように、トランプは自らを国際的な平和構築者であるかのように装っている。

特にコロナの時期には、トランプがディープ・ステートのアジェンダを実行していることが明らかになった。

厳格な制限措置に加えて、トランプはコビッド-19 mRNA ワクチンを自ら宣伝した。しかし、免疫学者、医師、自由メディアなど数多くの重要な専門家の声が、このワクチンの危険性を警告する一方で--。トランプはFOXニュースのインタビューで次のように語った

「ワクチンは驚くほどよく効き、95%以上の予防効果があります。本当によく効きます。このワクチンは私たちの国を救い、率直に言って世界を救うことになるでしょう」。

トランプ大統領は、mRNA ワクチンをアメリカ国民に勧めるかとの質問に対し、支持を鼓舞した

「そうだね。お勧めします。予防接種を受けたくない人たちにも勧めたい。素晴らしいワクチンですし、効果のあるワクチンです」。

ディープ・ステートの首謀者たちは、アメリカの大統領や大統領候補が民主党であろうと共和党であろうと気にしない。実際、彼らは政党とその支持者たちが公の場で争うことを非常に喜んでいる。彼ら自身は世間の注目を浴びることを望んでいない。

英国の調査報道ジャーナリストで作家のデビッド・アイクは、AZKカンファレンス2024でこの言葉を端的に表現した「『左』と『右』という政治的な観点から私たちが見ているものは、劇場なんですね。エンターテインメント劇場ですよ。しかし、そのおかげで私たちは政治システムを信じ続けることができる。そして、4、5年ごとに投票することで、誰が政府を率いるかをどうにかコントロールすることができる。しかし、この人形劇の影に一步引いてみれば--左翼と右翼が存在する--、どちらも同じ手によって操られていることがわかるだろう」。「だから、私たちは顔を上げることなく、同じ手がすべての異なる派閥の糸を握っていることに気づくことなく、互いに争っている」。

ドナルド・トランプにしても、政党色が重要な役割を果たしていないことは明らかだ。

2001年8月、トランプは民主党として登録。

2004年と2008年、彼はすでにジョージ・W・ブッシュに対抗するアメリカ大統領選挙に民主党から出馬することをほのめかしていた。

2009年に共和党に再登録。また、彼は2012年まで主要政党への献金を同じように分配しており、たとえば2012年には現在のライバルであるカマラ・ハリスにも献金している。

この「右と左のゲーム」を見抜き、人為的に作られた分断を克服するのは、一人ひとりの人間にかかっている。重要なのは、舞台裏の黒幕にスポットライトを当てることだ。同じ黒幕がアメリカで活動しているだけでなく、世界のほとんどすべての国で水面下で活動していることに注目すべきである。Kla.TVの#Krakeで数々の暴露番組をご覧ください。

このディープ・ステートの活動からアメリカを、そして世界中の国々を解放するためには、共同責任と情報発信は間違いなく現時点での最大の解決策のひとつである。一方では、個々の「救世主」とされる人物に希望を託さないことが非常に重要である。もし彼らが「ディープ・ステート」の黒幕とつながっているのであれば、なおさらだ。その一方で、人口の中心から生まれる正義のネットワークに参加することが、今日の秩序である。

国際的なKla.TVネットワークの一員となり、インターネット検閲が強化される時代に私たちと連絡を取り合うためには、リンク先のインターネットから独立して(!)私たちのKla.TVネットワークに接続してください www.kla.tv/vernetzung。

この重要な内容をできるだけ広く伝えてください。ありがとうございました!

Quellen / Sources:

2024年11月5日のアメリカ選挙

https://en.wikipedia.org/wiki/2024_United_States_presidential_election

<https://kamalaharris.com/meet-kamala-harris/>

ディープ・ステートとはどういう意味か?

https://de.wikipedia.org/wiki/Staat_im_Staate

https://www.handelsblatt.com/arts_und_style/buchrezension-in-deep-donald-trump-und-der-tiefe-staat-mehr-als-eine-verschwoerungstheorie/25826318.html

アメリカ建国の父たち

Dr h.c. ミヒヤエル・ヘーゼマン 『フリーメイソンの玉座と祭壇に対する戦争』341-343 ページ

https://de.wikipedia.org/wiki/Unabh%C3%A4ngigkeitserkl%C3%A4rung_der_Vereinigten_Staaten

https://de.wikipedia.org/wiki/Verfassung_der_Vereinigten_Staaten

ワシントンD.C.における象徴的都市計画

Dr. h.c. ミヒヤエル・ヘーゼマン 『戦争 玉座と祭壇に対するフリーメイソンの、344 - 345 ページ

https://en.wikipedia.org/wiki/Pierre_Charles_L%27Enfant

ワシントンの連邦議会議事堂 - フリーメイソンによる礎石据付

Dr h.c. ミヒヤエル・ヘーゼマン、王位と祭壇に対するフリーメイソンの戦争、345 ページ

<https://www.mountvernon.org/george-washington/freemasonry/the-george-washington-masonic-national-memorial>

ワシントン記念塔-フリーメイソンのシンボル

https://de.wikipedia.org/wiki/Washington_Monument

<https://www.washington.citysam.de/washington-monument.htm>

<https://www.nps.gov/wamo/planyourvisit/physical-mobility.htm>

ドル紙幣に描かれたメーソンの象徴

https://de.wikipedia.org/wiki/Franklin_D._Roosevelt

<https://www.bild.de/ratgeber/2016/fragen/warum-ist-ehine-pyramide-auf-dem-ein-dollar-schein-44628200.bild.html>

<https://www.spiegel.de/wirtschaft/soziales/verschwoerungstheorien-der-wirtschaft-die-pyramide-auf-der-dollarnote-a-847862.html>

<https://de.wikipedia.org/wiki/Illuminatenorden>

アメリカにおける秘密結社の急速な拡大

Dr h.c. ミヒヤエル・ヘーゼマン 『フリーメイソンの玉座と祭壇に対する戦争』346 ページ

[https://freimaurer-wiki.de/index.php/Vereinigte_Staaten_von_Amerika_\(USA\)](https://freimaurer-wiki.de/index.php/Vereinigte_Staaten_von_Amerika_(USA))

<https://www.geo.de/wissen/freimaurer--geheimbund-ohne-ein-geheimnis-30638590.html>

メーソン寺院としてのジョージ・ワシントン・メーソン・ナショナル・メモリアル

<https://www.nps.gov/places/george-washington-masonic-national-memorial.htm>

https://de.wikipedia.org/wiki/George_Washington_Masonic_National_Memorial

1789年~2017年、アメリカ大統領のほぼ全員がフリーメイソン

オイゲン・レンホフ「Die nordamerikanische Freimaurerei」バーゼル 1930年

Giole Magaldi, Massoni - Società a Responsabilità illimitata. 社会的責任の無限化オ
リジナルロジ、2019年

<https://www.jstor.org/stable/43528944>

https://de.wikipedia.org/wiki/Franklin_D._Roosevelt#Mitgliedschaften
https://de.wikipedia.org/wiki/Harry_S._Truman#Freimaurerei
<https://menora-bibel.jimdofree.com/historische-bibeln/englisch/bibeln-der-us-pr%C3%A4sidenten>
<https://www.kathpedia.com/index.php/Freimaurer>
https://www.focus.de/wissen/mensch/wer-die-usa-wirklich-regiert-verschwörungstheorien_id_2197119.html
1921年、高級フリーメーソンによって設立された外交問題評議会
カール・ハイゼ『エンテ・フリーメーソンと世界大戦』1920年
ラルフ・エパーソン『見えざる手-世界政治における秘密勢力の影響力』2004年
https://en.wikipedia.org/wiki/Council_on_Foreign_Relations
https://de.wikipedia.org/wiki/Council_on_Foreign_Relations
<https://www.unsertirol24.com/2021/01/02/der-colonel>
<https://www.unsertirol24.com/2021/01/04/der-colonel-3>
<https://www.andreanolen.com/home/understanding-kuhn-loeb-amp-co>
https://de.findagrave.com/memorial/886/john_d-rockefeller
<https://medium.com/@julianwilson655/freemasonry-known-members-b4ef72c79816>
フリーメーソンの高額金融による CFR 設立資金
ラース・シャル『敵のように考える-9.11 非常事態 20年とテロの地政学』2021年、44ページ
https://www.iatp.org/sites/default/files/Global_Governance_Why_How_When.htm
1921年以降の CFR 長官と代表者
https://en.wikipedia.org/wiki/John_W._Davis
<https://www.cfr.org/historical-roster-directors-and-officers>
デビッド・M・ルーベンシュタイン、ワシントン記念塔の修復に資金提供
https://www.washingtonpost.com/local/david-rubenstein-spent-10-million-on-the-washington-monument-he-can-climb-any-ladder-inside-he-wants/2019/09/17/8ea8a486-d974-11e9-a688-303693fb4b0b_story.html
https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_occult_symbols
米政府に影響力を行使する CFR
<https://www.cfr.org/celebrating-a-century/changing-membership>
<https://www.telepolis.de/features/Der-Klub-der-Weisen-Maenner-3419681.html>
<https://www.nytimes.com/1971/11/21/archives/is-it-a-club-seminar-presidium-invisible-government-the-council-on-.html>
CFR、影の政府を世界に拡大
https://www.washingtonpost.com/opinions/henry-kissinger-my-friend-david-rockefeller-a-man-who-served-the-world/2017/03/30/bd4789b0-13f6-11e7-ada0-1489b735b3a3_story.html
https://de.wikipedia.org/wiki/Trilaterale_Kommission
https://en.wikipedia.org/wiki/European_Council_on_Foreign_Relations
ジョー・バイデン メーソン・ロッジ「マート」のメンバー
https://en.wikipedia.org/wiki/Joe_Biden
[https://de.wikipedia.org/wiki/Maat_\(%C3%A4gyptische_Mythologie\)](https://de.wikipedia.org/wiki/Maat_(%C3%A4gyptische_Mythologie))
https://de.wikipedia.org/wiki/Auge_der_Vorsehung
ジョー・バイデンの CFR キャビネット
<https://www.cfr.org/event/foreign-affairs-issue-launch-former-vice-president-joe-biden>
<https://monthlyreview.org/2021/05/01/the-council-on-foreign-relations-the-biden-team-and-key-policy-outcomes>
ジョージ・ソロス、アレクサンダー・ソロス両氏がバイデンを支援
<https://www.foxnews.com/politics/george-soros-son-visited-white-house-at-least-17-times-since-biden-took-office-records-show>
https://www.focus.de/politik/ausland/us-wahl/kampf-um-spendengelder-diese-milliardaere-engagieren-sich-fuer-trump-und-biden_id_260148192.html
カマラ・ハリスと CFR との密接な関係
https://en.wikipedia.org/wiki/Kamala_Harris
<https://www.cfr.org/membership/roster>
https://de.wikipedia.org/wiki/Maya_Harris
ジョージとアレクサンダー・ソロス、カマラ・ハリスの立候補に資金提供
<https://www.manager-magazin.de/unternehmen/george-soros-und-sohn-alexander-unterstuetzen-kamala-harris-a-e446e9af-a2df-4ae3-b68d-6c44da562845>
<https://www.capital.de/wirtschaft-politik/kamala-harris--diese-grossspender-unterstuetzen-die-us-politikerin-34904082.html>
ドナルド・トランプ第 45 代米国大統領
https://en.wikipedia.org/wiki/Donald_Trump

https://en.wikipedia.org/wiki/Trump_Tower
トランプとCFRの戦略家ヘンリー・キッシンジャーとの友情
https://en.m.wikipedia.org/wiki/File:President_Trump_Meets_with_Henry_Kissinger_%2833787724293%29.jpg
<https://www.axios.com/2018/02/08/trump-meeting-with-kissinger-again-1518116617>
<https://www.handelsblatt.com/politik/international/grossspender-wichtiger-erfolg-fuer-trumpblackstone-ceo-schwarzman-will-doch-gelder-fuer-ihn-einsammeln/100039877.html>
https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_Skull_and_Bones_members
ドナルド・トランプのイエズス会教育
<https://dailytheology.org/2020/08/01/donald-trumps-jesuit-education-2>
オイゲン・レンホフ、オスカー・ポーザー、ディーター・A・ビンダー「国際メーソン百科事典」、432-433ページ。
トランプと33度フリーメーソン、ノーマン・ヴィンセント・ピールの関係
<https://www.faz.net/aktuell/politik/us-wahl/us-wahl-2024-donald-trump-lockt-mit-bibel-verkauf-evangelikale-waehler-19616046.html>
<https://reformiert.info/de/politik/das-attentat-macht-praesidentschaftskandidat-donald-trump-fuer-evangelikale-zum-auserwaehlten-23819.html>
<https://www.nzz.ch/international/trump-die-evangelikalen-sind-seine-wichtigste-waehlerbasis-ld.1793118>
<https://www.politico.com/magazine/story/2015/10/donald-trump-2016-norman-vincent-peale-213220>
<https://www.nytimes.com/2016/09/06/nyregion/donald-trump-marble-collegiate-church-norman-vincent-peale.html>
https://en.wikipedia.org/wiki/Norman_Vincent_Peale
https://de.wikipedia.org/wiki/Donald_Trump
ジャレッド・クシュナー - トランプを支える「灰色の猊下」
https://en.wikipedia.org/wiki/Jared_Kushner
https://de.wikipedia.org/wiki/Jared_Kushner
<https://bilderbergmeetings.org/meetings/meeting-2019/participants-2019>
投資家ピーター・ティール、トランプ大統領に100万ドル以上の資金提供
<https://bilderbergmeetings.org/background/steering-committee/steering-committee>
<https://www.nzz.ch/international/midterms-der-investor-peter-thiel-unterstuetzt-trumps-kandidaten-ld.1706059>
<https://www.nytimes.com/2016/10/16/technology/peter-thiel-donald-j-trump.html>
<https://www.nzz.ch/wirtschaft/peter-thiel-warum-der-paypal-gruender-trump-und-vance-nicht-mehr-unterstuetzt-ld.1846181>
https://de.wikipedia.org/wiki/Peter_Thiel
J.D.バンスとメンター ピーター・ティール
<https://www.forbes.com/sites/antoniopequenoiv/2024/07/16/jd-vance-and-peter-thiel-what-to-know-about-the-relationship-between-trumps-vp-pick-and-the-billionaire>
https://en.wikipedia.org/wiki/JD_Vance
<https://www.youtube.com/watch?v=lWHxKSu-iyk>
ドナルド・トランプとビル&ヒラリー・クリントンの関係
<https://www.wiwo.de/politik/ausland/trump-contra-clinton-der-schmutzigste-wahlkampf/13656454.html>
<https://edition.cnn.com/2016/09/09/politics/bill-clinton-donald-trump-photos/index.html>
<https://www.nytimes.com/2015/12/30/us/politics/ex-ally-donald-trump-now-heaps-scorn-on-bill-clinton.html>
<https://www.politico.com/story/2015/06/donald-trump-donations-democrats-hillary-clinton-119071>
<https://kurier.at/politik/ausland/us-wahl/ivanka-trump-und-chelsea-clinton-zwei-freundinnen-aus-manhattan/228.939.270>
<https://kurier.at/stars/clinton-trump-wieviel-haelt-ihre-freundschaft-aus/148.113.308>
<https://www.bloomberg.com/politics/articles/2015-06-16/fyi-hillary-clinton-had-a-front-pew-seat-at-donald-trump-s-wedding>
https://www.washingtonpost.com/politics/bill-clinton-called-donald-trump-ahead-of-republicans-2016-launch/2015/08/05/e2b30bb8-3ae3-11e5-b3ac-8a79bc44e5e2_story.html

トランプ大統領、ヒラリー・クリントンに対する捜査を打ち切る

<https://www.zeit.de/politik/ausland/2016-11/us-wahl-donald-trump-hillary-clinton-ermittlungen>
<https://www.nbcnews.com/politics/2016-election/trump-team-signals-he-won-t-pursue-clinton-investigations-n687116>
<https://www.bbc.com/news/world-us-canada-38069585>
ジョージ・ブッシュとジョン・ケリーはスカル&ボーンズのメンバー
https://de.wikipedia.org/wiki/Pr%C3%A4sidentschaftswahl_in_den_Vereinigten_Staaten_2004
https://en.wikipedia.org/wiki/Skull_and_Bones
<https://www.cicero.de/weltbuhne/die-usa-regiert-der-knochen-kult/36393>
ドナルド・トランプ、ジェフリー・エプスタインのネットワークでビル&ヒラリー・クリントンと共演
https://nymag.com/nymetro/news/people/n_7912
<https://www.forbes.com/sites/lisettevoytko/2020/07/21/heres-every-time-donald-trump-and-ghislaine-maxwell-have-been-photographed-together>
<https://www.bbc.com/news/world-us-canada-67865190>
<https://www.thetimes.com/uk/royal-family/article/bill-clinton-jeffrey-epstein-and-ghislaine-maxwell-an-uncomfortable-connection-xsbhcxjkq>
エプスタイン、未成年者のセックスを仲介
https://en.wikipedia.org/wiki/Jeffrey_Epstein
<https://taz.de/Prozess-gegen-Epstein-Vertraute/!5820761>
https://de.wikipedia.org/wiki/Council_on_Foreign_Relations#Mitglieder
ドナルド・トランプとビル・クリントンがロリータ・エクスプレスのフライトログに登場
<https://www.newsweek.com/donald-trump-flights-jeffrey-epstein-jet-lolita-express-1857109>
<https://www.20min.ch/story/epstein-maschine-boeing-727-kostet-fast-nichts-trotzdem-will-sie-niemand-103017978>
https://de.wikipedia.org/wiki/Little_Saint_James
<https://www.bild.de/unterhaltung/leute/leute/jeffrey-epsteins-pilot-packt-aus-nach-bill-clinton-musste-ich-sauber-machen-78406304.bild.html>
<https://www.nau.ch/people/welt/pilot-enthullt-trump-und-prinz-andrew-flogen-in-pado-epsteins-jet-66056783>
<https://www.newsnationnow.com/banfield/fight-log-trump-flew-on-epsteins-plane-7-times>
エプスタインの被害者マリア・ファーマー、トランプとクリントン夫妻がエプスタインの店を出入りするのを目撃
https://en.wikipedia.org/wiki/Maria_Farmer
<https://www.nytimes.com/2019/08/26/us/epstein-farmer-sisters-maxwell.html>
トランプ氏、性売買禁止法に署名
<https://www.freedomunited.org/de/News/Ivanka-Trump-lobt-Pr%C3%A4sident-Trumps-mutiges-Handeln>
<https://edition.cnn.com/2018/04/11/politics/sex-trafficking-donald-trump/index.html>
トランプ氏、ジェフリー・エプスタイン氏のファイルを公開せず
<https://www.youtube.com/watch?v=jZ4JxUo6lXw>
イーロン・マスクとドナルド・トランプ、将来的に緊密に協力する計画
https://en.wikipedia.org/wiki/Elon_Musk
<https://www.zeit.de/politik/ausland/2024-09/usa-donald-trump-elon-musk-kommission-finanzen>
<https://www.fr.de/politik/trump-musk-usa-wahl-demokraten-republikaner-harris-november-twitter-93284541.html>
イーロン・マスク、トランプに太鼓判
<https://orf.at/stories/3366441>
<https://www.forbes.com/sites/saradorn/2024/07/15/elon-musk-will-give-about-45-million-a-month-to-support-trump-report-says>
イーロン・マスクのプロフィール写真に悪魔のシンボル
<https://www.tagesschau.de/faktenfinder/trump-musk-100.html>
<https://loudwire.com/elon-musk-wears-satanic-suit-armor>
<https://futurism.com/elon-musk-christianity-baphomet-armor>
<https://www.bbc.com/news/magazine-33682878>
<https://de.wikipedia.org/wiki/Baphomet>
https://en.wikipedia.org/wiki/Sigil_of_Baphomet
イーロン・マスクとグレッグ・アボット、「ルシファー・サイン」を披露
<https://www.dailydot.com/debug/musk-abbott-devil-horns-conspiracy>

<https://factcheck.afp.com/online-posts-falsely-portray-pope-francis-and-other-world-leaders-making-devil-horns-gesture>
https://en.wikipedia.org/wiki/Anton_LaVey
https://www.clarin.com/mundo/fotos-gestos-afecto-emmanuel-macron-donald-trump-causan-gracia-unidos_0_rkz4LLyTz.html
79,000発の爆弾と12,000回の無人爆撃機がトランプの戦争記録だ
<https://original.antiwar.com/mbenjamin/2018/12/25/bring-the-troops-home-but-also-stop-the-bombing>
<https://www.swr.de/wissen/1000-antworten/donald-trump-hat-keine-kriege-gefuehrt-stimmt-das-106.html>
トランプ大統領、NATO加盟国に国防費の大幅増額を要求
<https://www.welt.de/politik/ausland/article179193340/Nato-Gipfel-Trump-fordert-Nato-Staaten-zu-Militaerausgaben-von-vier-Prozent-auf.html>
<https://www.reuters.com/article/world/trump-tells-nato-leaders-to-increase-defense-spend-to-4-percent-idUSKBN1K12BW>
トランプ大統領、WHOのコロナウイルス対策失敗を非難
<https://www.tagesschau.de/ausland/amerika/trump-who-zahlungen-103.html>
<https://www.bbc.com/news/world-us-canada-52294623>
ワクチン専門家、免疫学者、医師がmRNAコロナワクチン接種に警告
<https://www.kla.tv/Impfschaden>

トランプは政党色を変え、民主党と共和党に献金した
https://de.wikipedia.org/wiki/Donald_Trump
<https://www.politifact.com/factchecks/2015/jul/09/ben-ferguson/donald-trumps-campaign-contributions-democrats-and>

Autor / Author: wm.